

資料編

1. 上尾市環境基本条例

平成9年9月30日条例第25号

上尾市環境基本条例

目次

前文

第1章 総則（第1条—第6条）

第2章 環境の保全及び創造に関する基本的施策（第7条—第21条）

第3章 環境の保全及び創造のための推進体制（第22条—第26条）

附則

人は、豊かな自然の恵みの下に、その生命をはぐくみ、活力ある今日の社会を築いてきた。

しかしながら、生活の利便性や物質的な豊かさが高まる一方で、資源やエネルギーを大量に消費する社会経済活動は、自然の再生能力や浄化能力を超えるような規模となり、ひいては、すべての生物の生存基盤である地球の環境を脅かすまでに至っている。

武蔵野の美しい自然と豊かな歴史と伝統にはぐくまれた私たちの上尾でも、人口の集中や産業の集積により、活発な社会経済活動が展開される一方、多くの自然が失われ、都市・生活型公害が拡大するとともに、廃棄物の問題が深刻化しつつある。

もとより、私たちは、健康で文化的な生活を営む上で必要とされる良好な環境を享受する権利を有するとともに、その環境を将来の世代に引き継ぐべき責務を有している。

私たちを取り巻く環境は、すべての生命をはぐくむ母胎であり、人類共通の財産である。私たちは、このことを深く認識し、健全で恵み豊かな環境を維持しつつ、環境への負荷の少ない持続的に発展することができる循環型社会の構築を目指していかなければならない。

私たちは、共に力を合わせて環境の保全及び創造を推進し、人と地球にやさしい上尾をつくるために、ここに、この条例を制定する。

第1章 総則

（目的）

第1条 この条例は、環境の保全及び創造について、基本理念を定め、並びに市、事業者及び市民の責務を明らかにするとともに、環境の保全及び創造に関する施策の基本となる事項を定め、これに基づく施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の市民の健康で安全かつ快適な生活の確保に寄与することを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

（1） 環境への負荷 人の活動により環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるものをいう。

（2） 公害 環境の保全上の支障のうち、事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気の汚染、水質の汚濁（水質以外の水の状態又は水底の底質が悪化することを含む。）、土壤の汚染、騒音、振動、地盤の沈下及び悪臭によって、人の健康又

は生活環境（人の生活に密接な関係のある財産並びに人の生活に密接な関係のある動植物及びその生育環境を含む。）に係る被害が生ずることをいう。

- (3) 環境監査 市が環境の保全及び創造に関して講じた施策について事後的に自ら点検及び評価を行い、その結果を以後の市が実施する環境の保全及び創造に関する施策に反映させていくことをいう。

(基本理念)

第3条 環境の保全及び創造は、市民が健康で安全かつ快適な環境を享受する権利の実現を図るとともに、その環境を将来の世代に引き継ぐことを目的として行われなければならない。

- 2 環境の保全及び創造は、すべての者が環境への負荷を低減することその他の行動を自主的かつ積極的に行うことによって、自然の物質循環を損なうことなく持続的に発展することができる社会が構築されるように推進されなければならない。
- 3 環境の保全及び創造は、地域の環境が地球全体の環境と密接にかかわっていることにあるべき、国際的な認識及び協力の下に推進されなければならない。

(市の責務)

第4条 市は、前条に定める環境の保全及び創造についての基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、環境の保全及び創造に関する基本的かつ総合的な施策を策定し、及びこれを実施する責務を有する。

(事業者の責務)

第5条 事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動を行うに当たっては、これに伴つて生ずるばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するために必要な措置を講ずる責務を有する。

- 2 事業者は、基本理念にのっとり、物の製造、加工又は販売その他の事業活動を行うに当たっては、環境の保全上の支障を防止するため、次に掲げる事項に努めなければならない。
- (1) 事業活動に係る製品その他の物が廃棄物となった場合にその適正な処理が図られることとなるように必要な措置を講ずること。
- (2) 事業活動に係る製品その他の物が使用され、又は廃棄されることによる環境への負荷の低減に資すること。
- (3) 再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、役務等を利用すること。
- 3 前2項に定めるもののほか、事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動に関し、これに伴う環境への負荷の低減その他の環境の保全及び創造に自ら努めるとともに、市が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する責務を有する。

(市民の責務)

第6条 市民は、基本理念にのっとり、環境の保全及び創造を図るため、その日常生活において環境への負荷の低減その他の環境の保全及び創造に主体的に取り組むように努めるとともに、市が実施する環境の保全及び創造に関する施策の推進に積極的に参画し、及び協力する責務を有する。

第2章 環境の保全及び創造に関する基本的施策

(環境への配慮の優先)

第7条 市は、すべての施策の策定及び実施に当たっては、環境への配慮を優先し、環境への負荷の低減その他の環境の保全及び創造を図るように努めなければならない。

(環境基本計画)

第8条 市長は、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、上尾市環境基本計画（以下「環境基本計画」という。）を策定するものとする。

2 環境基本計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

(1) 環境の保全及び創造に関する長期的な目標及び総合的な施策の大綱

(2) その他環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

3 市長は、環境基本計画を策定するに当たっては、あらかじめ市民の意見を聴いたうえ、上尾市環境審議会の意見を聽かなければならない。

4 市長は、環境基本計画を策定したときは、速やかにこれを公表するものとする。

5 前2項の規定は、環境基本計画の変更について準用する。

(環境基本計画との整合)

第9条 市は、環境に影響を及ぼすと認められる施策を策定し、及び実施するに当たっては、環境基本計画との整合を図らなければならない。

(報告書の作成)

第10条 市長は、毎年、環境の状況並びに環境の保全及び創造に関して講じた施策に関する報告書を作成し、これを公表するものとする。

(環境監査の実施)

第11条 市は、環境の保全及び創造に関する施策の適正な推進を確保するため、市が行う環境監査に関し調査研究を行い、その実施に努めるものとする。

(環境影響評価の推進)

第12条 市は、土地の形状の変更、工作物の新設その他これらに類する事業を行う事業者が、その事業の実施前に環境影響評価を行い、その結果に基づき、その事業に係る環境の保全について適正に配慮することを推進するため、必要な措置を講ずるように努めるものとする。

(規制措置)

第13条 市は、環境の保全上の支障を防止するため、必要な規制措置を講ずるものとする。

(助成措置)

第14条 市は、事業者又は市民が環境への負荷の低減のための施設の整備その他の環境の保全及び創造のための適切な措置をとることを助長するため、必要かつ適正な助成を行うために必要な措置を講ずるように努めるものとする。

(財政措置)

第15条 市は、環境の保全及び創造に関する施策を推進するために必要な財政上の措置を講ずるように努めるものとする。

(環境の保全及び創造に資する事業等の推進)

第16条 市は、下水道、廃棄物の処理施設その他の環境の保全上の支障の防止に資する施設の整備を推進するため、必要な措置を講ずるものとする。

2 市は、多様な野生生物の生息空間の確保、適正な水循環の形成その他の環境の保全及び創造に資する事業を推進するため、必要な措置を講ずるものとする。

3 前項に定めるもののほか、市は、公園、緑地等の整備その他の自然環境の適正な整備及び健全な利用のための事業を推進するため、必要な措置を講ずるものとする。

（環境への負荷の低減に資する製品等の利用の促進）

第 17 条 市は、再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、製品、役務、エネルギー等の利用が促進されるように、必要な措置を講ずるものとする。

（環境教育及び環境学習の振興等）

第 18 条 市は、環境の保全及び創造に関する教育及び学習の振興並びに広報活動の充実により、事業者及び市民が環境の保全及び創造についての理解を深めるとともにこれらの者の環境の保全及び創造に関する活動を行う意欲が増進されるように、必要な措置を講ずるものとする。

（民間団体等の環境保全活動の促進）

第 19 条 市は、事業者、市民又はこれらの者の組織する民間の団体（以下「民間団体等」という。）が自発的に行う環境の保全及び創造に関する活動が促進されるように、必要な措置を講ずるものとする。

（情報の提供）

第 20 条 市は、第 18 条の教育及び学習の振興並びに前条の民間団体等の活動の促進に資するため、個人及び法人の権利利益の保護に配慮しつつ、環境の状況その他の環境の保全及び創造に関する必要な情報を適切に提供するよう努めるものとする。

（市民の意見の反映）

第 21 条 市は、環境の保全及び創造に関する施策に、市民の意見を反映することができるよう、必要な措置を講ずるものとする。

第3章 環境の保全及び創造のための推進体制

（総合調整のための体制の整備）

第 22 条 市は、環境の保全及び創造に関する施策について総合的に調整し、及び推進するため必要な体制を整備するものとする。

（調査等の体制の整備）

第 23 条 市は、環境の状況を把握し、及び環境の保全に関する施策を適正に実施するために必要な調査、監視、測定及び検査の体制を整備するものとする。

（地球環境の保全）

第 24 条 市は、国際的な認識及び協力の下に、国、埼玉県その他の関係機関と連携して、地球の温暖化の防止、オゾン層の保護その他の地球環境の保全に資する施策を推進するものとする。

（国、埼玉県等との協力）

第 25 条 市は、広域的な取組が必要とされる環境の保全及び創造に関する施策の策定及び実施に当たっては、国及び埼玉県その他の地方公共団体と協力して推進するものとする。

(民間団体等との協働)

第26条 市は、環境の保全及び創造に関し、協働して取り組むため、民間団体等からなる組織を整備するものとする。

附 則

この条例は、平成10年4月1日から施行する。

2. 測定値等の集計データ

(1) 再エネ・省エネ対策推進奨励金

再エネ・省エネ対策推進奨励金										
	太陽光発電システム		太陽熱温水器		水式ソーラーシステム		エネファーム		ハイブリッド給湯器	
年度	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）
R4	110	3,721,700	1	10,000	0	0	18	360,000	3	60,000
R5	128	4,340,000	0	0	0	0	16	320,000	5	100,000
R6	169	14,544,300	—	—	—	—	32	1,600,000	16	480,000

	おひさまエコキュート		電気自動車		プラグインハイブリッド自動車		燃料電池自動車		電動バイク	
年度	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）
R4	—	—	36	1,800,000	25	750,000	0	0	0	0
R5	—	—	64	2,380,000	—	—	0	0	0	0
R6	7	350,000	45	2,250,000	—	—	0	0	3	30,000

	普通充電・V2H充放電設備		HEMS		グリーンカーテン		蓄電池		総計	
年度			件数	補助金（円）	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）
R4	—	—	29	279,400	6	18,900	—	—	228	7,000,000
R5	—	—	44	440,000	5	20,000	120	2,400,000	382	10,000,000
R6	41	1,188,300	39	387,400	—	—	129	6,450,000	481	27,280,000

※R3より予算額が620万円に増額、かつ交付対象機器に燃料電池自動車が追加された。

(資料：環境政策課ゼロカーボン推進室)

※R4より予算額が700万円に増額した。

※R5より予算額が1,000万円に増額、かつ交付対象機器に蓄電池が追加された。

※R6より予算額が2,728万円に増額、かつ交付対象機器におひさまエコキュート・普通充電設備・V2H充放電設備が追加された。

(2) 地域リサイクル事業

年度	交付団体数	回収量（kg） 新聞紙、雑誌、段ボール	報奨金（円）
R4	125	2,717,285	5,369,800
R5	121	2,434,640	4,790,100
R6	119	2,243,410	4,431,700

(資料：環境政策課)

(3) 家庭用生ごみ処理容器購入費補助事業

年度	コンポスト・EM式		電気式		総計	
	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）	件数	補助金（円）
R4	40	122,700	61	1,022,200	101	1,144,900
R5	31	78,500	87	1,588,700	118	1,667,200
R6	20	75,100	93	1,724,900	113	1,800,000

(資料：環境政策課)

※R4より予算額を120万円から180万円に増額した。

(4) 自動車交通騒音・振動の測定結果

自動車騒音は、要請限度（昼間 75dB/夜間 70dB）を概ね超えておりませんが、一部について夜間の要請限度を超えていたため、注意が必要です。道路交通振動は、全測定地点で要請限度（昼間 65dB/夜間 60dB）を下回りました。

地点名	国道17号線				
測定地点	上尾市上町 2 – 1 4 – 1 9 （青少年センター）				
測定結果		騒 音		振 動	
		昼 間 (6:00～ 22:00)	夜 間 (22:00～ 6:00)	昼 間 (8:00～ 19:00)	夜 間 (19:00～ 8:00)
R4	道路端	72	71	54	56
	背後地（LA95）	54	48	—	—
R5	道路端	71	71	55	56
	背後地（LA95）	54	51	—	—
R6	道路端	73	71	56	57
	背後地（LA95）	53	48	—	—

(dB)

(資料：生活環境課)

地点名	上尾道路				
測定地点	上尾市壱丁目117付近				
測定結果		騒 音		振 動	
		昼 間 (6:00~ 22:00)	夜 間 (22:00~ 6:00)	昼 間 (8:00~ 19:00)	夜 間 (19:00~ 8:00)
R4	道路端	60	53	43	37
	背後地 (LA95)	46	35	—	—
R5	道路端	61	56	43	37
	背後地 (LA95)	49	42	—	—
R6	道路端	61	54	44	37
	背後地 (LA95)	44	37	—	—

※平成29年度まで「さいたま栗橋線」を測定していたが、原市ポンプ場の測定終了に伴い、市内の主要道路である「上尾道路」を今後の定点測定とする。

(資料：生活環境課)

(dB)

地点名	第二産業道路（主要地方道 さいたま菖蒲線）				
測定地点	上尾市原市4169-3（原市集会所）				
測定結果		騒 音		振 動	
		昼 間 (6:00~ 22:00)	夜 間 (22:00~ 6:00)	昼 間 (8:00~ 19:00)	夜 間 (19:00~ 8:00)
R4	道路端	71	68	48	41
	背後地 (LA95)	50	39	—	—
R5	道路端	71	67	49	43
	背後地 (LA95)	52	44	—	—
R6	道路端	71	67	49	43
	背後地 (LA95)	50	41	—	—

(資料：生活環境課)

(dB)

(5) 公共施設の放射線測定結果

測定値は全て基準値である $0.23 \mu \text{Sv}/\text{h}$ を下回りました。

年度	上尾市役所 本庁舎	($\mu\text{Sv}/\text{時}$) : 年平均 (上段 : 50cm) (下段 : 地表面)
R4	0.063	
	0.066	
R5	0.063	
	0.063	
R6	0.064	
	0.062	(資料 : 生活環境課)

(6) 大気汚染物質の環境基準適合状況

	物 質 名					
	二酸化硫黄 (SO ₂)		二酸化窒素 (NO ₂)	浮遊粒子状物質 (SPM)		光化学 オゾン (O _x)
	短期	長期 (2%除外値)	長期 (98%値)	短期	長期 (2%除外値)	短期
R4	—	—	○	×	○	×
R5	—	—	○	○	○	×
R6	—	—	○	○	○	×

(資料 : 埼玉県大気汚染常時監視システム)

(7) ダイオキシン類の測定結果

大気のダイオキシン類について、全ての測定地点で環境基準 ($0.6\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$) を下回りました。

調査対象	大気 ダイオキシン類				($\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$)
R6	上平小学校	原市公民館	大石公民館	西貝塚公民館	
春季	—	—	—	—	—
夏季	0.008	0.009	0.009	0.075	
秋季	—	—	—	—	—
冬季	0.011	0.009	0.009	0.013	

(資料：生活環境課)

河川水のダイオキシン類について、全ての測定地点で環境基準 ($1\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$) を下回りました。

調査対象	河川水 ダイオキシン類				($\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$)
R6	鴨川 (鴨川富士見親水公園)	芝川 (道三橋)	原市沼川 (柳津橋)	江川 (宮下樋管)	
	0.100	0.35	0.20	0.61	

(資料：生活環境課)

焼却施設における大気中のダイオキシン類について、排出基準 ($1\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$) を下回りました。

調査対象	西貝塚環境センター煙突				($\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$)
R6	1号炉	2号炉	3号炉	平均	
夏季	0.083	0.048	0.14	0.090	
冬季	0.11	0.14	0.069	0.11	

(資料：西貝塚環境センター)

(8) 汚水処理人口普及率の状況

年度	総人口	公共 下水道	合併処理淨化槽	単独処理 淨化槽	普通弁槽	改良弁槽	(人) 汚水処理人口 普及率 (%)
R4	230,273	195,849	12,628	21,228	320	248	90.5
R5	230,045	196,786	12,600	20,141	285	233	91.0
R6	230,211	198,923	11,848	18,961	269	210	91.6

(資料：生活環境課、下水道施設課)

(9) 河川水質調査結果

(資料は次ページより記載)

※1：「硝酸性窒素」、「亜硝酸性窒素」はその他の項目として測定している。

※2：要監視項目の指針値。

※3：参考として、さいたま市以南（見沼代用水西縁と伏越により交差より下流）から適用される基準を用いた。

※4：参考として流入先である綾瀬川の基準を用いた。

※5：参考として調査地点の約600m下流（鴨川橋下流）から適用される基準を用いた。

※6：参考として流入先である荒川の基準を用いた。

※7：参考として流入先である鴨川の基準を用いた。

河川の水質調査の結果、生活環境項目については、生物化学的酸素要求量（BOD）*が環境基準を超過している箇所があります。原因は、生活系排水が原因であると考えられるため、引き続き、下水道の接続のほか、合併処理浄化槽への転換の普及、啓発及び補助を実施する。（単独浄化槽と比較し、BODを約1/8に低減）

調査地点①芝川上流(上平北小学校脇)

探 取 年 月 日 時 刻	R6.6.6 13:25	R6.7.18 8:40	R6.10.29 8:25	R7.1.14 9:00	平均	環境基準 類型D(生物B) ^{※3}
	分析項目	単位				
天候(前日・当日)	—	晴・曇	曇・曇	曇・曇	晴・晴	—
一 気温	°C	22.5	28.0	18.0	6.0	18.6
水温	°C	20.2	22.0	19.0	5.1	16.6
般 採取位置	—	流心	流心	流心	流心	—
項 採取水深	—	表層	表層	表層	表層	—
目 全水深	m	0.09	0.07	0.05	0.1	0.08
透視度	度(cm)	50.0	50.0	50.0	36.0	46.5
色相	—	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	中灰黄色	—
臭気	—	無臭	微下水臭	微下水臭	無臭	—
流量	m ³ /sec	0.04	0.04	0.02	0.01	0.03
水素イオン濃度	—	6.8	6.7	6.8	7.0	6.8
溶存酸素量	mg/L	7.2	6.0	6.0	6.8	6.5
生 物化学的酸素要求量	mg/L	0.8	1.0	1.2	7.8	2.7
活 浮遊物質量	mg/L	2	2	3	6	3
環 n-ヘキサン抽出物質	mg/L	—	—	0.5	—	0.5
境 全窒素	mg/L	3.6	—	4.1	—	3.9
項 全燃	mg/L	0.060	—	0.097	—	0.079
目 全亜鉛	mg/L	0.021	—	0.014	—	0.018
ノニルフェノール	mg/L	—	—	—	—	0.002以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—	—	—	—	0.05以下
カドミウム	mg/L	0.0003	—	0.0003	—	0.0003
健 全シアン	mg/L	0.1	—	0.1	—	0.1
鉛	mg/L	0.001	—	0.001	—	0.001
六価クロム	mg/L	0.005	—	0.005	—	0.005
康 酸素	mg/L	0.001	—	0.001	—	0.001
項 総水銀	mg/L	0.0005	—	0.0005	—	0.0005
アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	検出されないこと
PCB	mg/L	—	—	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	0.01以下
1,3-ジクロロブロベン	mg/L	—	—	—	—	0.002以下
チウラム	mg/L	—	—	—	—	0.006以下
シマジン	mg/L	—	—	—	—	0.003以下
チオベニカルブ	mg/L	—	—	—	—	0.02以下
ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	0.01以下
セレン	mg/L	—	—	—	—	0.01以下
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	3.0	—	3.5	—	3.3
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.035	—	0.085	—	0.060
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	10以下
ふつ素	mg/L	—	—	0.02	—	0.02
ほう素	mg/L	—	—	—	—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	0.05以下
特 フェノール類	mg/L	—	—	0.005	—	0.005
殊 銅	mg/L	—	—	0.01	—	0.01
項 溶解性鉄	mg/L	—	—	0.5	—	0.5
溶解性マンガン	mg/L	—	—	0.09	—	0.09
目 クロム	mg/L	—	—	0.01	—	0.01
そ アンモニア性窒素	mg/L	0.2	—	0.2	—	0.2
の ケルダール窒素	mg/L	0.49	—	0.48	—	0.49
他 リン酸性リン	mg/L	0.04	—	0.07	—	0.06
の 導電率	mS/m	21	23	23	34	25
の 陰イオン界面活性剤	mg/L	0.01	—	0.01	—	0.01
要 トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	0.04以下 ^{※2}
監 クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—	—	—	—	0.002以下 ^{※2}
視						

調査地点②芝川上流(上郷橋)

探	取	年	月	日	R6.6.6	R6.7.18	R6.10.29	R7.1.14	平均	環境基準 類型D(生物B) ^{※3}
					時	刻	13:25	8:40		
分析項目				単位						
	天候(前日・当日)			—	晴・曇	曇・曇	曇・曇	晴・晴	—	—
一	気温	°C		22.5	28.0	18.0	5.5		18.5	—
	水温	°C		20.2	22.0	19.0	9.8		17.8	—
般	採取位置			—	流心	流心	流心	流心	—	—
	採取水深			—	表層	表層	表層	表層	—	—
項	全水深	m		0.09	0.07	0.05	0.04		0.06	—
目	透視度	度(cm)		>50.0	>50.0	>50.0	>50.0		>50.0	—
	色相			—	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	無色	—	—
生	臭気			—	無臭	微下水臭	微下水臭	無臭	—	—
活	流量	m ³ /sec		0.04	0.04	0.02	<0.01		0.03	—
環	水素イオン濃度			—	6.8	6.7	6.8	6.8	6.8	6.0以上8.5以下
境	溶存酸素量	mg/L		7.2	6.0	6.0	5.7		6.2	2以上
項	生物化学的酸素要求量	mg/L		0.8	1.0	1.2	2.2		1.3	8以下
目	浮遊物質量	mg/L		2	2	3	4		3	100以下
全窒素	n-ヘキサン抽出物質	mg/L		—	—	ND	—		ND	—
全燐	全窒素	mg/L		3.6	—	4.1	—		3.9	—
全燐	全亜鉛	mg/L		0.060	—	0.097	—		0.079	—
全亜鉛	ノニルフェノール	mg/L		0.021	—	0.014	—		0.018	0.03以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L			—	—	—	—		—	0.02以下
カドミウム	mg/L			<0.0003	—	<0.0003	—		<0.0003	0.003以下
全シアン	mg/L			ND	—	ND	—		ND	検出されないこと
健	鉛	mg/L		<0.001	—	<0.001	—		<0.001	0.01以下
康	六価クロム	mg/L		<0.005	—	<0.005	—		<0.005	0.02以下
項	砒素	mg/L		<0.001	—	<0.001	—		<0.001	0.01以下
目	総水銀	mg/L		<0.0005	—	<0.0005	—		<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L			—	—	—	—		—	検出されないこと
PCB	mg/L			—	—	—	—		—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L			—	—	—	—		—	0.02以下
四塩化炭素	mg/L			—	—	—	—		—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L			—	—	—	—		—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L			—	—	—	—		—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L			—	—	—	—		—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L			—	—	—	—		—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L			—	—	—	—		—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L			—	—	—	—		—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L			—	—	—	—		—	0.01以下
1,3-ジクロロプロパン	mg/L			—	—	—	—		—	0.002以下
チウラム	mg/L			—	—	—	—		—	0.006以下
シマジン	mg/L			—	—	—	—		—	0.003以下
チオベニカルブ	mg/L			—	—	—	—		—	0.02以下
ベンゼン	mg/L			—	—	—	—		—	0.01以下
セレン	mg/L			—	—	—	—		—	0.01以下
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L			3.0	—	3.5	—		3.3	—
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L			0.035	—	0.085	—		0.060	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L			—	—	—	—		—	10以下
ふつ素	mg/L			—	—	0.02	—		0.02	0.8以下
ほう素	mg/L			—	—	—	—		—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L			—	—	—	—		—	0.05以下
フェノール類	mg/L			—	—	<0.005	—		<0.005	—
銅	mg/L			—	—	<0.01	—		<0.01	—
溶解性鉄	mg/L			—	—	0.5	—		0.5	—
溶解性マンガン	mg/L			—	—	0.09	—		0.09	—
クロム	mg/L			—	—	<0.01	—		<0.01	—
アンモニア性窒素	mg/L			0.2	—	0.2	—		0.2	—
ケルダール窒素	mg/L			0.49	—	0.48	—		0.49	—
リン酸性リン	mg/L			0.04	—	0.07	—		0.06	—
導電率	mS/m			21	23	23	25		23	—
陰イオン界面活性剤	mg/L			0.01	—	0.01	—		0.01	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L			—	—	—	—		—	0.04以下 ^{※2}
クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L			—	—	—	—		—	0.002以下 ^{※2}

調査地点③芝川中流(道三橋)

探 取 年 月 日 時 刻	R6.6.6 15:00	R6.7.18 10:00	R6.10.29 10:05	R7.1.14 10:20		平均	環境基準
							類型D(生物B) ^{※3}
天候(前日・当日)	—	晴・曇	曇・曇	曇・曇	晴・晴	—	—
一 気温	°C	26.0	31.0	18.0	8.0	20.8	—
水温	°C	20.6	24.0	19.5	9.0	18.3	—
般 採取位置	—	流心	流心	流心	流心	—	—
採取水深	—	表層	表層	表層	表層	—	—
項 全水深	m	0.35	0.36	0.45	0.33	0.37	—
目 透視度	度(cm)	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	—
色相	—	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	無色	—	—
臭気	—	微下水臭	微下水臭	微下水臭	無臭	—	—
流量	m ³ /sec	0.13	0.14	0.08	0.05	0.10	—
水素イオン濃度	—	7.1	7.0	7.0	7.1	7.1	6.0以上8.5以下
溶存酸素量	mg/L	6.2	7.0	6.9	7.2	6.8	2以上
生 物化学的酸素要求量	mg/L	6.3	1.1	1.1	2.1	2.7	8以下
活 浮遊物質量	mg/L	11	9	9	2	8	100以下
環 n-ヘキサン抽出物質	mg/L	—	—	ND	—	ND	—
境 全窒素	mg/L	3.9	—	4.3	—	4.1	—
項 全燐	mg/L	0.18	—	0.26	—	0.22	—
目 全亜鉛	mg/L	0.046	—	0.023	—	0.035	0.03以下
ノルフレノール	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—	—	—	—	—	0.05以下
カドミウム	mg/L	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	0.003以下
全シアン	mg/L	ND	—	ND	—	ND	検出されないこと
健 鉛	mg/L	0.001	—	<0.001	—	0.001	0.01以下
六価クロム	mg/L	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	0.02以下
砒素	mg/L	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	0.01以下
康 総水銀	mg/L	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	検出されないこと
PCB	mg/L	—	—	—	—	—	検出されないこと
項 ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	0.004以下
目 1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	0.006以下
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	0.003以下
チオベニカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	0.02以下
ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
セレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	3.0	—	3.5	—	3.3	—
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.098	—	0.10	—	0.099	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	10以下
ふつ素	mg/L	—	—	0.03	—	0.03	0.8以下
ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	0.05以下
特 殊 項 目 フェノール類	mg/L	—	—	<0.005	—	<0.005	—
銅	mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01	—
溶解性鉄	mg/L	—	—	0.2	—	0.2	—
溶解性マンガン	mg/L	—	—	<0.05	—	<0.05	—
クロム	mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01	—
そ の 他 の 項 目 アンモニア性窒素	mg/L	0.2	—	0.2	—	0.2	—
ケルダール窒素	mg/L	0.78	—	0.67	—	0.73	—
リン酸性リン	mg/L	0.14	—	0.18	—	0.16	—
導電率	mS/m	30	23	25	36	29	—
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.03	—	0.01	—	0.02	—
要 監 視 項 目 トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.04以下 ^{※2}
クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下 ^{※2}

調査地点④芝川下流(日の出橋)

探	取	年	月	日	R6.6.6	R6.7.18	R6.10.29	R7.1.14	平均	環境基準 類型D(生物B) ^{※3}
					時	刻	15:20	10:30		
分析項目				単位						
	天候(前日・当日)			—	晴・曇	曇・曇	曇・曇	晴・晴		—
一	気温			°C	27.0	33.0	18.0	10.0		22.0
	水温			°C	21.7	25.5	20.5	12.6		20.1
般	採取位置			—	流心	流心	流心	流心		—
	採取水深			—	表層	表層	表層	表層		—
項	全水深			m	0.38	0.33	0.27	0.21		0.30
	透視度			度(cm)	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0		>50.0
目	色相			—	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	無色		—
	臭気			—	無臭	無臭	微下水臭	無臭		—
	流量			m ³ /sec	0.26	0.26	0.17	0.11		0.20
	水素イオン濃度			—	7.1	7.1	7.2	7.2		7.2
生	溶存酸素量			mg/L	6.6	7.0	7.0	7.5		7.0
	生物化学的酸素要求量			mg/L	1.6	1.0	0.7	2.5		1.5
活	浮遊物質量			mg/L	9	8	3	2		6
環	n-ヘキサン抽出物質			mg/L	—	—	ND	—	ND	—
境	全窒素			mg/L	3.3	—	3.0	—		3.2
項	全燃			mg/L	0.18	—	0.23	—		0.21
目	全亜鉛			mg/L	0.13	—	0.23	—		0.18
	ノニルフェノール			mg/L	—	—	0.00011	—		0.00011
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩			mg/L	—	—	0.011	—		0.011
	カドミウム			mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003		<0.0003
健	全シアン			mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
	鉛			mg/L	0.001	0.001	<0.001	<0.001		0.001
	六価クロム			mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		<0.005
康	砒素			mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		<0.001
	総水銀			mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005
	アルキル水銀			mg/L	—	—	ND	—	ND	検出されないこと
項	PCB			mg/L	—	—	ND	—	ND	検出されないこと
目	ジクロロメタン			mg/L	—	—	<0.002	—		<0.002
	四塩化炭素			mg/L	—	—	<0.0002	—		<0.0002
	1,2-ジクロロエタン			mg/L	—	—	<0.0004	—		<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン			mg/L	—	—	<0.002	—		<0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン			mg/L	—	—	<0.004	—		<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン			mg/L	—	—	<0.0005	—		<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン			mg/L	—	—	<0.0006	—		<0.0006
	トリクロロエチレン			mg/L	—	—	<0.001	—		<0.001
	テトラクロロエチレン			mg/L	—	—	<0.0005	—		<0.0005
	1,3-ジクロロプロパン			mg/L	—	—	<0.0002	—		<0.0002
	チウラム			mg/L	—	—	<0.0006	—		<0.0006
	シマジン			mg/L	—	—	<0.0003	—		<0.0003
	チオベンカルブ			mg/L	—	—	<0.002	—		<0.002
	ベンゼン			mg/L	—	—	<0.001	—		<0.001
	セレン			mg/L	—	—	<0.001	—		<0.001
	硝酸性窒素 ^{※1}			mg/L	2.7	—	2.4	—		2.6
	亜硝酸性窒素 ^{※1}			mg/L	0.049	—	0.046	—		0.048
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			mg/L	—	—	2.4	—		2.4
	ふつ素			mg/L	—	—	0.05	—		0.05
	ほう素			mg/L	—	—	6.4	0.79		3.6
	1,4-ジオキサン			mg/L	—	—	<0.005	—		<0.005
特	フェノール類			mg/L	—	—	<0.005	—		<0.005
殊	銅			mg/L	—	—	0.13	—		0.13
項	溶解性鉄			mg/L	—	—	0.1	—		0.1
目	溶解性マンガン			mg/L	—	—	<0.05	—		<0.05
	クロム			mg/L	—	—	<0.01	—		<0.01
そ	アンモニア性窒素			mg/L	0.1	—	0.1	—		0.1
の	ケルダール窒素			mg/L	0.56	—	0.59	—		0.58
他	リン酸性リン			mg/L	0.15	—	0.18	—		0.17
の	導電率			mS/m	64	76	90	98		82
項	陰イオン界面活性剤			mg/L	0.02	—	0.01	—		0.02
要	トランス-1,2-ジクロロエチレン			mg/L	—	—	<0.004	—		<0.004
監	クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)			mg/L	—	—	<0.0002	—		<0.0002
視										0.002以下 ^{※2}
項目										

調査地點 ⑤原市沼川上流(上平橋)

採 取 年 月	日 時 刻	R6.6.6 14:20	R6.7.18 9:30	R6.10.29 9:30	R7.1.14 9:50	平 均	環境基準 類型C(生物B) ^{※4}
		分析項目	単位				
天候(前日・当日)	—	晴・曇	曇・曇	曇・曇	晴・晴	—	—
一 気温	°C	27.0	30.0	18.0	6.0	20.3	—
般 水温	°C	21.5	23.5	19.5	6.8	17.8	—
探取位置	—	流心	流心	流心	流心	—	—
項 探取水深	—	表層	表層	表層	表層	—	—
目 全水深	m	0.20	0.32	0.30	0.21	0.26	—
透視度	度(cm)	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	—
色相	—	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	無色	—	—
臭気	—	無臭	無臭	微下水臭	無臭	—	—
流量	m ³ /sec	0.05	0.02	0.02	0.01	0.03	—
水素イオン濃度	—	6.7	6.6	6.6	6.8	6.7	6.5以上8.5以下
溶存酸素量	mg/L	6.2	6.5	6.8	4.4	6.0	5以上
生 物化学的酸素要求量	mg/L	1.0	0.7	0.7	1.5	1.0	5以下
活 浮遊物質量	mg/L	4	2	4	<1	3	50以下
環 n-ヘキサン抽出物質	mg/L	—	—	ND	—	ND	—
境 全窒素	mg/L	3.7	—	5.3	—	4.5	—
項 全燐	mg/L	0.15	—	0.13	—	0.14	—
目 全亜鉛	mg/L	0.009	—	0.007	—	0.008	0.03以下
ノルルフェノール	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—	—	—	—	—	0.05以下
カドミウム	mg/L	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	0.003以下
健 全シアン	mg/L	ND	—	ND	—	ND	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	0.01以下
康 六価クロム	mg/L	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	0.02以下
項 硒素	mg/L	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	0.01以下
目 総水銀	mg/L	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	検出されないこと
PCB	mg/L	—	—	—	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	0.006以下
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	0.003以下
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	0.02以下
ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
セレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	3.1	—	4.7	—	3.9	—
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.029	—	0.093	—	0.061	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	10以下
ふつ素	mg/L	—	—	0.03	—	0.03	0.8以下
ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	0.05以下
フェノール類	mg/L	—	—	<0.005	—	<0.005	—
銅	mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01	—
溶解性鉄	mg/L	—	—	<0.1	—	<0.1	—
溶解性マンガン	mg/L	—	—	<0.05	—	<0.05	—
クロム	mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01	—
アソニニア性窒素	mg/L	0.2	—	0.1	—	0.2	—
ケルダール窒素	mg/L	0.62	—	0.43	—	0.53	—
リン酸性リン	mg/L	0.12	—	0.11	—	0.12	—
導電率	mS/m	19	22	22	25	22	—
陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.01	—	0.01	—	0.01	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.04以下 ^{※2}
クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下 ^{※2}

調査地点⑥原市沼川下流(境橋)

探	取	年	月	日	R6.6.6	R6.7.18	R6.10.29	R7.1.14	平 均	環境基準
					時 刻	15:50	11:00	8:45		類型C(生物B) ^{※4}
分析項目					単位					
一般項目	天候(前日・当日)			—	晴・曇	曇・曇	曇・曇	晴・晴	—	—
	気温			°C	25.0	35.0	17.0	10.0	21.8	—
	水温			°C	20.8	26.0	18.0	5.4	17.6	—
	採取位置			—	流心	流心	流心	流心	—	—
	採取水深			—	表層	表層	表層	表層	—	—
	全水深			m	0.66	0.70	0.26	0.19	0.45	—
	透視度			度(cm)	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	—
	色相			—	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	無色	—	—
	臭氣			—	無臭	微川藻臭	微下水臭	無臭	—	—
	流量			m ³ /sec	0.17	0.03	0.12	0.07	0.10	—
生物活性項目	水素イオン濃度			—	7.1	7.0	7.2	7.2	7.1	6.5以上8.5以下
	溶存酸素量			mg/L	4.4	3.2	6.3	8.2	5.5	5以上
	生物化学的酸素要求量			mg/L	1.8	0.8	1.7	1.5	1.5	5以下
	浮遊物質量			mg/L	10	4	14	3	8	50以下
	n-ヘキサン抽出物質			mg/L	—	—	ND	—	ND	—
	全窒素			mg/L	3.1	—	3.5	—	3.3	—
	全燐			mg/L	0.11	—	0.16	—	0.14	—
	全亜鉛			mg/L	0.012	—	0.014	—	0.013	0.03以下
	ノニルフェノール			mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩			mg/L	—	—	—	—	—	0.05以下
健 康 項 目	カドミウム			mg/L	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	0.003以下
	全シアン			mg/L	ND	—	ND	—	ND	検出されないこと
	鉛			mg/L	<0.001	—	0.001	—	0.001	0.01以下
	六価クロム			mg/L	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	0.02以下
	砒素			mg/L	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	0.01以下
	総水銀			mg/L	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	0.0005以下
	アルキル水銀			mg/L	—	—	—	—	—	検出されないこと
	PCB			mg/L	—	—	—	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン			mg/L	—	—	—	—	—	0.02以下
	四塩化炭素			mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
目	1,2-ジクロロエタン			mg/L	—	—	—	—	—	0.004以下
	1,1-ジクロロエチレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.1以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.04以下
	1,1,1-トリクロロエタン			mg/L	—	—	—	—	—	1以下
	1,1,2-トリクロロエタン			mg/L	—	—	—	—	—	0.006以下
	トリクロロエチレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
	テトラクロロエチレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
	1,3-ジクロロプロパン			mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
	チウラム			mg/L	—	—	—	—	—	0.006以下
	シマジン			mg/L	—	—	—	—	—	0.003以下
特殊項目	チオベンカルブ			mg/L	—	—	—	—	—	0.02以下
	ベンゼン			mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
	セレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
	硝酸性窒素 ^{※1}			mg/L	2.4	—	2.8	—	2.6	—
	亜硝酸性窒素 ^{※1}			mg/L	0.094	—	0.10	—	0.097	—
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			mg/L	—	—	—	—	—	10以下
	ふつ素			mg/L	—	—	0.05	—	0.05	0.8以下
	ほう素			mg/L	—	—	—	—	—	1以下
	1,4-ジオキサン			mg/L	—	—	—	—	—	0.05以下
	フェノール類			mg/L	—	—	<0.005	—	<0.005	—
その他項目	銅			mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01	—
	溶解性鉄			mg/L	—	—	0.2	—	0.2	—
	溶解性マンガン			mg/L	—	—	0.12	—	0.12	—
	クロム			mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01	—
	アンモニア性窒素			mg/L	0.3	—	0.1	—	0.2	—
要監視項目	ケルダール窒素			mg/L	0.65	—	0.67	—	0.66	—
	リン酸性リン			mg/L	0.09	—	0.12	—	0.11	—
	導電率			mS/m	28	29	29	32	30	—
要監視項目	陰イオン界面活性剤			mg/L	0.01	—	0.01	—	0.01	—
	トランス-1,2-ジクロロエチレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.04以下 ^{※2}
	クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)			mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下 ^{※2}

調査地点⑦綾瀬川(立合橋)

探	取	年	月	日	R6.6.6	R6.7.18	R6.10.29	R7.1.14	平 均	環境基準 類型C(生物B)
					時 刻	16:30	11:45	9:50		
分析項目					単位					
一般項目	天候(前日・当日)			—	晴・曇	曇・曇	曇・曇	晴・晴	—	—
	気温			°C	26.0	35.0	18.0	12.0	22.8	—
	水温			°C	22.7	26.5	18.0	5.8	18.3	—
	採取位置			—	流心	流心	流心	流心	—	—
	採取水深			—	表層	表層	表層	表層	—	—
	全水深			m	1.03	1.26	0.45	0.30	0.76	—
	透視度			度(cm)	39.0	>50.0	>50.0	40.0	44.8	—
	色相			—	中灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	中灰黄色	—	—
	臭氣			—	無臭	微川藻臭	微下水臭	無臭	—	—
	流量			m³/sec	2.7	1.4	0.45	0.26	1.2	—
生物活性項目	水素イオン濃度			—	7.2	7.0	7.2	7.3	7.2	6.5以上8.5以下
	溶存酸素量			mg/L	6.6	5.7	6.1	7.9	6.6	5以上
	生物化学的酸素要求量			mg/L	1.9	1.2	2.8	3.9	2.5	5以下
	浮遊物質量			mg/L	14	7	10	8	10	50以下
	n-ヘキサン抽出物質			mg/L	—	—	ND	—	ND	—
	全窒素			mg/L	2.1	—	3.4	—	2.8	—
	全燐			mg/L	0.13	—	0.21	—	0.17	—
	全亜鉛			mg/L	0.007	—	0.020	—	0.014	0.03以下
	ノニルフェノール			mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩			mg/L	—	—	—	—	—	0.05以下
健 康 項 目	カドミウム			mg/L	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	0.003以下
	全シアン			mg/L	ND	—	ND	—	ND	検出されないこと
	鉛			mg/L	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	0.01以下
	六価クロム			mg/L	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	0.02以下
	砒素			mg/L	0.001	—	0.001	—	0.001	0.01以下
	総水銀			mg/L	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	0.0005以下
	アルキル水銀			mg/L	—	—	—	—	—	検出されないこと
	PCB			mg/L	—	—	—	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン			mg/L	—	—	—	—	—	0.02以下
	四塩化炭素			mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
目	1,2-ジクロロエタン			mg/L	—	—	—	—	—	0.004以下
	1,1-ジクロロエチレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.1以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.04以下
	1,1,1-トリクロロエタン			mg/L	—	—	—	—	—	1以下
	1,1,2-トリクロロエタン			mg/L	—	—	—	—	—	0.006以下
	トリクロロエチレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
	テトラクロロエチレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
	1,3-ジクロロプロパン			mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
	チウラム			mg/L	—	—	—	—	—	0.006以下
	シマジン			mg/L	—	—	—	—	—	0.003以下
特殊項目	チオベンカルブ			mg/L	—	—	—	—	—	0.02以下
	ベンゼン			mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
	セレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
	硝酸性窒素 ^{※1}			mg/L	1.4	—	2.3	—	1.9	—
	亜硝酸性窒素 ^{※1}			mg/L	0.045	—	0.12	—	0.083	—
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			mg/L	—	—	—	—	—	10以下
	ふつ素			mg/L	—	—	0.05	—	0.05	0.8以下
	ほう素			mg/L	—	—	—	—	—	1以下
	1,4-ジオキサン			mg/L	—	—	—	—	—	0.05以下
	フェノール類			mg/L	—	—	<0.005	—	<0.005	—
その他項目	銅			mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01	—
	溶解性鉄			mg/L	—	—	0.3	—	0.3	—
	溶解性マンガン			mg/L	—	—	0.14	—	0.14	—
	クロム			mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01	—
	アンモニア性窒素			mg/L	0.1	—	0.3	—	0.2	—
要監視項目	ケルダール窒素			mg/L	0.63	—	0.91	—	0.77	—
	リン酸性リン			mg/L	0.10	—	0.13	—	0.12	—
	導電率			mS/m	21	22	35	40	30	—
要監視項目	陰イオン界面活性剤			mg/L	0.01	—	0.02	—	0.02	—
	トランス-1,2-ジクロロエチレン			mg/L	—	—	—	—	—	0.04以下 ^{※2}
	クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)			mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下 ^{※2}

調査地點⑧尾山台都市下水路(瓦葺2868番地先)

採取年月日		R6.10.29 時刻 11:10					平均	環境基準 類型C(生物B) ^{※4}
分析項目		単位						
天候(前日・当日)	—	曇・曇					—	—
一 気温	°C	17.0					17.0	—
般 水温	°C	19.5					19.5	—
探取位置	—	流心					—	—
探取水深	—	表層					—	—
項 全水深	m	0.07					0.07	—
目 透視度	度(cm)	>50.0					>50.0	—
色相	—	淡灰黄色					—	—
臭気	—	微下水臭					—	—
流量	m ³ /sec	0.02					0.02	—
生 水素イオン濃度	—	7.5					7.5	6.5以上8.5以下
活 溶存酸素量	mg/L	10.4					10.4	5以上
環 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.9					0.9	5以下
境 浮遊物質量	mg/L	1					1	50以下
項 n-ヘキサン抽出物質	mg/L	ND					ND	—
目 全窒素	mg/L	3.8					3.8	—
全燃	mg/L	0.10					0.10	—
全亜鉛	mg/L	0.004					0.004	0.03以下
ノニルフェノール	mg/L	—					—	0.002以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—					—	0.05以下
カドミウム	mg/L	<0.0003					<0.0003	0.003以下
健 全シアン	mg/L	ND					ND	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.001					<0.001	0.01以下
六価クロム	mg/L	<0.005					<0.005	0.02以下
砒素	mg/L	<0.001					<0.001	0.01以下
康 総水銀	mg/L	<0.0005					<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	—					—	検出されないこと
PCB	mg/L	—					—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	—					—	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	—					—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—					—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—					—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—					—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	—					—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	—					—	0.01以下
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—					—	0.002以下
チウラム	mg/L	—					—	0.006以下
シマジン	mg/L	—					—	0.003以下
チオペンカルブ	mg/L	—					—	0.02以下
ベンゼン	mg/L	—					—	0.01以下
セレン	mg/L	—					—	0.01以下
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	3.4					3.4	—
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.070					0.070	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—					—	10以下
ふつ素	mg/L	0.05					0.05	0.8以下
ほう素	mg/L	—					—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—					—	0.05以下
フェノール類	mg/L	<0.005					<0.005	—
銅	mg/L	<0.01					<0.01	—
溶解性鉄	mg/L	<0.1					<0.1	—
溶解性マンガン	mg/L	<0.05					<0.05	—
クロム	mg/L	<0.01					<0.01	—
アソモニア性窒素	mg/L	<0.1					<0.1	—
ケルダール窒素	mg/L	0.32					0.32	—
リン酸性リン	mg/L	0.07					0.07	—
導電率	mS/m	29					29	—
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.01					0.01	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.04以下 ^{※2}
クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—					—	0.002以下 ^{※2}

調査地點 ⑨瓦葺都市下水路(国道16号脇)

取年月		日	R6.10.29				平均	環境基準 類型C(生物B) ^{※4}
分析項目		単位	時刻	10:35				
天候(前日・当日)	—	曇・曇					—	—
一 気温	°C	18.0					18.0	—
般 水温	°C	19.5					19.5	—
探取位置	—	流心					—	—
探取水深	—	表層					—	—
項 全水深	m	0.10					0.10	—
目 透視度	度(cm)	>50.0					>50.0	—
色相	—	淡灰黄色					—	—
臭気	—	微下水臭					—	—
流量	m ³ /sec	<0.01					<0.01	—
生 水素イオン濃度	—	7.3					7.3	6.5以上8.5以下
活 溶存酸素量	mg/L	7.2					7.2	5以上
環 生物化学的酸素要求量	mg/L	2.4					2.4	5以下
境 浮遊物質量	mg/L	5					5	50以下
項 n-ヘキサン抽出物質	mg/L	ND					ND	—
目 全窒素	mg/L	5.2					5.2	—
全燃	mg/L	0.27					0.27	—
全亜鉛	mg/L	0.010					0.010	0.03以下
ノニルフェノール	mg/L	—					—	0.002以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—					—	0.05以下
カドミウム	mg/L	<0.0003					<0.0003	0.003以下
全シアン	mg/L	ND					ND	検出されないこと
健 鉛	mg/L	<0.001					<0.001	0.01以下
六価クロム	mg/L	<0.005					<0.005	0.02以下
砒素	mg/L	0.001					0.001	0.01以下
康 総水銀	mg/L	<0.0005					<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	—					—	検出されないこと
PCB	mg/L	—					—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	—					—	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	—					—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—					—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—					—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—					—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	—					—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	—					—	0.01以下
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—					—	0.002以下
チウラム	mg/L	—					—	0.006以下
シマジン	mg/L	—					—	0.003以下
チオペンカルブ	mg/L	—					—	0.02以下
ベンゼン	mg/L	—					—	0.01以下
セレン	mg/L	—					—	0.01以下
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	4.1					4.1	—
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.23					0.23	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—					—	10以下
ふつ素	mg/L	0.04					0.04	0.8以下
ほう素	mg/L	—					—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—					—	0.05以下
フェノール類	mg/L	<0.005					<0.005	—
銅	mg/L	<0.01					<0.01	—
溶解性鉄	mg/L	0.6					0.6	—
溶解性マンガン	mg/L	0.12					0.12	—
クロム	mg/L	<0.01					<0.01	—
アソニニア性窒素	mg/L	0.3					0.3	—
ケルダール窒素	mg/L	0.87					0.87	—
リン酸性リン	mg/L	0.25					0.25	—
導電率	mS/m	31					31	—
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.03					0.03	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.04以下 ^{※2}
クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—					—	0.002以下 ^{※2}

調査地點 ⑩鴨川上流(鴨川中央公園脇)

採 取 年 月	日 時 刻	R6.6.5 13:55	R6.8.21 9:30	R6.11.20 9:00	R7.2.14 9:35	平 均	環境基準 類型C(生物B) ^{※5}
		分 析 項 目	単 位				
一 般 探取位置 項目	天候(前日・当日)	—	晴・時雨・晴	晴・晴	晴・曇	晴・晴	—
	気温	°C	24.5	30.5	7.0	7.5	17.4
	水温	°C	22.8	25.1	14.5	8.1	17.6
	探取位置	—	流心	流心	流心	流心	—
	探取水深	—	表層	表層	表層	表層	—
	全水深	m	0.27	0.21	0.29	0.14	0.23
	透視度	度(cm)	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	—
	色相	—	無色	無色	淡灰黄色	淡灰色	—
	臭氣	—	無臭	無臭	無臭	微下水臭	—
	流量	m ³ /sec	0.02	0.04	0.01	<0.01	0.02
生 活 環 境 項 目	水素イオン濃度	—	7.3	7.2	7.1	7.1	7.2
	溶存酸素量	mg/L	8.1	9.2	8.4	9.5	8.8
	生物化学的酸素要求量	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	1.3	0.7
	浮遊物質量	mg/L	2	1	1	2	2
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	—	—	ND	—	ND
	全窒素	mg/L	4.0	—	4.1	—	4.1
	全燃	mg/L	0.029	—	0.022	—	0.026
	全亜鉛	mg/L	0.012	—	0.007	—	0.010
	ノルルフェノール	mg/L	—	—	—	—	0.002以下
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—	—	—	—	0.05以下
健 康 項 目	カドミウム	mg/L	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003
	全シアン	mg/L	ND	—	ND	—	ND
	鉛	mg/L	<0.001	—	<0.001	—	<0.001
	六価クロム	mg/L	<0.005	—	<0.005	—	<0.005
	砒素	mg/L	<0.001	—	<0.001	—	<0.001
	総水銀	mg/L	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	検出されないこと
	PCB	mg/L	—	—	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	0.02以下
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	0.002以下
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	0.004以下
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	0.1以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	0.04以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	1以下
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	0.006以下
	トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	0.01以下
	1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—	0.002以下
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	0.006以下
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	0.003以下
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	0.02以下
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	0.01以下
	セレン	mg/L	—	—	—	—	0.01以下
	硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	3.8	—	4.0	—	3.9
	亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.006	—	<0.005	—	0.006
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	10以下
	ふつ素	mg/L	—	—	0.02	—	0.02
	ほう素	mg/L	—	—	—	—	1以下
	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	0.05以下
特 殊 項 目	フェノール類	mg/L	—	—	<0.005	—	<0.005
	銅	mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01
	溶解性鉄	mg/L	—	—	0.1	—	0.1
	溶解性マンガン	mg/L	—	—	<0.05	—	<0.05
	クロム	mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01
そ の 他 の 項 目	アンモニア性窒素	mg/L	<0.1	—	<0.1	—	<0.1
	ケルダール窒素	mg/L	0.17	—	0.09	—	0.13
	リン酸性リン	mg/L	0.02	—	0.01	—	0.02
	導電率	mS/m	19	21	21	22	21
	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.01	—	<0.01	—	<0.01
要 監 視 項 目	トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	0.04以下 ^{※2}
	クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—	—	—	—	0.002以下 ^{※2}

調査地點 ⑪鴨川中流(富士見橋)

採取年月		日時	R6.6.5 13:25	R6.8.21 9:05	R6.11.20 8:30	R7.2.14 9:10		平均	環境基準 類型C(生物B)
分析項目		単位							
天候(前日・当日)	—	晴一時雨・晴	晴・晴	晴・曇	晴・晴		—	—	—
一般 気温	°C	24.5	29.0	7.0	7.0		16.9	—	—
水温	°C	23.5	24.8	13.5	8.4		17.6	—	—
探取位置 探取水深	—	流心	流心	流心	流心		—	—	—
項目 全水深	m	0.18	0.52	0.14	0.12		0.24	—	—
透視度	度(cm)	34.0	>50.0	>50.0	>50.0		46.0	—	—
色相	—	中灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色		—	—	—
臭気	—	無臭	微下水臭	微下水臭	無臭		—	—	—
流量	m ³ /sec	0.13	0.15	0.07	0.03		0.10	—	—
水素イオン濃度	—	7.5	7.3	7.2	7.3		7.3	6.5以上8.5以下	—
生物 化学的酸素要求量	mg/L	7.5	7.6	8.2	10.8		8.5	5以上	—
浮遊物質 n-ヘキサン抽出物質	mg/L	0.9	0.7	0.6	1.1		0.8	5以下	—
環境 全窒素	mg/L	10	3	1	4		5	50以下	—
項目 全塩素	mg/L	—	—	ND	—		ND	—	—
全燃	mg/L	3.2	—	3.0	—		3.1	—	—
全亜鉛	mg/L	0.70	—	0.11	—		0.41	—	—
ノルルフェノール	mg/L	0.042	—	0.015	—		0.029	0.03以下	—
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—	—	—	—		—	0.05以下	—
健 カドミウム	mg/L	<0.0003	—	<0.0003	—		<0.0003	0.003以下	—
鉛 全シアン	mg/L	ND	—	ND	—		ND	検出されないこと	—
六価クロム	mg/L	0.001	—	<0.001	—		0.001	0.01以下	—
項 硒素	mg/L	<0.005	—	<0.005	—		<0.005	0.02以下	—
康 総水銀	mg/L	<0.001	—	<0.001	—		<0.001	0.01以下	—
アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—		—	検出されないこと	—
PCB	mg/L	—	—	—	—		—	検出されないこと	—
ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—		—	0.02以下	—
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—		—	0.002以下	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—		—	0.004以下	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—		—	0.1以下	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—		—	0.04以下	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—		—	1以下	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—		—	0.006以下	—
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—		—	0.01以下	—
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—		—	0.01以下	—
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—		—	0.002以下	—
チウラム	mg/L	—	—	—	—		—	0.006以下	—
シマジン	mg/L	—	—	—	—		—	0.003以下	—
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—		—	0.02以下	—
ベンゼン	mg/L	—	—	—	—		—	0.01以下	—
セレン	mg/L	—	—	—	—		—	0.01以下	—
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	2.7	—	2.7	—		2.7	—	—
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.031	—	0.025	—		0.028	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—		—	10以下	—
ふつ素	mg/L	—	—	0.03	—		0.03	0.8以下	—
ほう素	mg/L	—	—	—	—		—	1以下	—
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—		—	0.05以下	—
特殊項目 フェノール類	mg/L	—	—	<0.005	—		<0.005	—	—
銅	mg/L	—	—	<0.01	—		<0.01	—	—
溶解性鉄	mg/L	—	—	0.2	—		0.2	—	—
溶解性マンガン	mg/L	—	—	0.07	—		0.07	—	—
クロム	mg/L	—	—	<0.01	—		<0.01	—	—
その他項目 アンモニア性窒素	mg/L	<0.1	—	<0.1	—		<0.1	—	—
ケルダール窒素	mg/L	0.46	—	0.19	—		0.33	—	—
リン酸性リン	mg/L	0.67	—	0.09	—		0.38	—	—
導電率	mS/m	27	23	22	24		24	—	—
陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.01	—	<0.01	—		<0.01	—	—
要監視項目 トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—		—	0.04以下 ^{※2}	—
クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—	—	—	—		—	0.002以下 ^{※2}	—

調査地点 ⑫鴨川下流(山の下橋)

探 取 年 月 日 時 刻	R6.6.5 15:55	R6.8.21 12:50	R6.11.20 11:20	R7.2.14 11:45	平均	環境基準 類型C(生物B)
	分析項目	単位				
天候(前日・当日)	—	晴一時雨・晴	晴・晴	晴・曇	晴・晴	—
一 気温	°C	26.0	35.0	7.0	14.5	20.6
水温	°C	26.9	29.4	11.0	9.7	19.3
般 採取位置	—	流心	流心	流心	流心	—
項 採取水深	—	表層	表層	表層	表層	—
全水深	m	0.72	1.00	0.49	0.40	0.65
透視度	度(cm)	38.0	>50.0	>50.0	>50.0	47.0
目 色相	—	中灰黄色	淡灰茶色	淡灰黄色	淡灰黄色	—
臭気	—	無臭	微下水臭	無臭	微下水臭	—
流量	m ³ /sec	0.20	0.27	0.19	0.11	0.19
水素イオン濃度	—	7.7	7.4	7.5	7.7	7.6
溶存酸素量	mg/L	7.2	6.9	9.8	11.0	8.7
生物化学的酸素要求量	mg/L	1.2	0.8	0.9	1.6	1.1
浮遊物質量	mg/L	10	5	5	3	6
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	—	—	ND	—	ND
境 全窒素	mg/L	2.3	—	2.9	—	2.6
項 全燐	mg/L	0.22	—	0.20	—	0.21
目 全亜鉛	mg/L	0.016	—	0.014	—	0.015
ノニルフェノール	mg/L	—	—	0.00006	—	0.00006
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—	—	0.026	—	0.026
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアノ	mg/L	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
六価クロム	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.02以下
砒素	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
康 総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
項 アルキル水銀	mg/L	—	—	ND	—	ND
PCB	mg/L	—	—	ND	—	ND
ジクロロメタン	mg/L	—	—	<0.002	—	<0.002
四塩化炭素	mg/L	—	—	<0.0002	—	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	<0.0004	—	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.002	—	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.004	—	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	<0.0005	—	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	<0.0006	—	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.001	—	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.0005	—	<0.0005
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	<0.0002	—	<0.0002
チウラム	mg/L	—	—	<0.0006	—	<0.0006
シマジン	mg/L	—	—	<0.0003	—	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	—	—	<0.002	—	<0.002
ベンゼン	mg/L	—	—	<0.001	—	<0.001
セレン	mg/L	—	—	<0.001	—	<0.001
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	1.7	—	2.5	—	2.1
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.028	—	0.034	—	0.031
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	2.5	—	2.5
ふつ素	mg/L	0.05	—	0.05	—	0.05
ほう素	mg/L	—	—	<0.02	—	<0.02
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	<0.005	—	<0.005
特 殊 項 目 フェノール類	mg/L	—	—	<0.005	—	<0.005
銅	mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01
溶解性鉄	mg/L	—	—	0.1	—	0.1
溶解性マンガン	mg/L	—	—	<0.05	—	<0.05
クロム	mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01
その他の項目 アンモニア性窒素	mg/L	0.1	—	0.1	—	0.1
ケルダール窒素	mg/L	0.50	—	0.39	—	0.45
リン酸性リン	mg/L	0.08	—	0.17	—	0.13
導電率	mS/m	22	30	28	32	28
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.01	—	0.01	—	0.01
要監視項目 トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.004	—	<0.004
クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—	—	<0.0002	—	<0.0002

調査地點 ⑬江川上流(滝ノ宮橋)

採 取 年 月	日 時 刻	R6.6.5 14:25	R6.8.21 9:50	R6.11.20 9:45	R7.2.14 10:15	平 均	環境基準 類型A(生物B) ^{※6}
		分 析 项 目	単 位				
天候(前日・当日)	—	晴一時雨・晴	晴・晴	晴・曇	晴・晴	—	—
一般 気温	°C	25.0	31.0	7.0	8.5	17.9	—
水温	°C	23.0	24.5	12.5	7.9	17.0	—
探取位置 探取水深	—	流心	流心	流心	流心	—	—
項目 全水深	m	0.29	0.50	0.25	0.09	0.28	—
透視度	度(cm)	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	—
色相	—	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	淡黄綠色	—	—
臭気	—	無臭	微下水臭	微下水臭	微下水臭	—	—
流量	m ³ /sec	0.29	0.48	0.18	0.08	0.26	—
水素イオン濃度	—	7.6	7.4	7.4	7.4	7.5	6.5以上8.5以下
溶存酸素量	mg/L	7.6	8.7	9.4	8.7	8.6	7.5以上
生物化学的酸素要求量	mg/L	1.0	1.1	0.6	4.0	1.7	2以下
浮遊物質量	mg/L	6	8	2	6	6	25以下
環境 n-ヘキサン抽出物質	mg/L	—	—	ND	—	ND	—
全窒素	mg/L	3.6	—	4.8	—	4.2	—
項目 全燃	mg/L	0.33	—	0.12	—	0.23	—
全亜鉛	mg/L	0.014	—	0.006	—	0.010	0.03以下
ノニルフェノール	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—	—	—	—	—	0.05以下
健 カドミウム	mg/L	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	0.003以下
全シアン	mg/L	ND	—	ND	—	ND	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	0.01以下
康 六価クロム	mg/L	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	0.02以下
項 硒素	mg/L	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	0.01以下
総水銀	mg/L	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	検出されないこと
PCB	mg/L	—	—	—	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	0.006以下
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	0.003以下
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	0.02以下
ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
セレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.01以下
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	2.9	—	4.4	—	3.7	—
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.063	—	0.086	—	0.075	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	10以下
ふつ素	mg/L	—	—	0.03	—	0.03	0.8以下
ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	0.05以下
特殊 酸性物質類	mg/L	—	—	<0.005	—	<0.005	—
項目 銅	mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01	—
溶解性鉄	mg/L	—	—	<0.1	—	<0.1	—
溶解性マンガン	mg/L	—	—	<0.05	—	<0.05	—
クロム	mg/L	—	—	<0.01	—	<0.01	—
その他 アンモニア性窒素	mg/L	0.1	—	<0.1	—	0.1	—
の 他 の ケルダール窒素	mg/L	0.72	—	0.32	—	0.52	—
の 他 の リン酸性リン	mg/L	0.28	—	0.11	—	0.20	—
の 他 の 導電率	mS/m	26	29	30	35	30	—
の 他 の 陰イオン界面活性剤	mg/L	0.01	—	<0.01	—	0.01	—
要監視 トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	0.04以下 ^{※2}
項目 クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—	—	—	—	—	0.002以下 ^{※2}

調査地點 ⑩江川下流(宮下樋管)

採	取	年	月	日	時 刻	R6.6.5	R6.8.21	R6.11.20	R7.2.14	平均	環境基準
						14:55	10:20	10:25	10:35		類型A(生物B) ^{※6}
分析項目				単位							
一	天候(前日・当日)	—	晴一時雨・晴	晴・晴	晴・曇	晴・晴			—	—	—
般	気温	°C	25.0	33.0	7.0	10.0			18.8	—	—
般	水温	°C	24.2	24.5	12.0	5.0			16.4	—	—
項	採取位置	—	流心	流心	流心	流心			—	—	—
項	採取水深	—	表層	表層	表層	表層			—	—	—
目	全水深	m	0.42	0.48	0.50	0.16			0.39	—	—
目	透視度	度(cm)	38.0	36.0	>50.0	>50.0			43.5	—	—
目	色相	—	中灰黄色	中灰黄色	淡灰黄色	淡黄綠色			—	—	—
目	臭氣	—	無臭	微下水臭	無臭	微下水臭			—	—	—
目	流量	m ³ /sec	0.66	0.72	0.27	0.13			0.45	—	—
生	水素イオン濃度	—	7.7	7.4	7.4	7.5			7.5	6.5以上8.5以下	—
活	溶存酸素量	mg/L	7.4	8.2	9.7	10.9			9.1	7.5以上	—
環	生物化学的酸素要求量	mg/L	9.4	1.7	1.1	3.6			4.0	2以下	—
境	浮遊物質量	mg/L	13	19	2	5			10	25以下	—
項	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	—	—	ND	—			ND	—	—
項	全窒素	mg/L	3.7	—	4.8	—			4.3	—	—
目	全燐	mg/L	0.26	—	0.13	—			0.20	—	—
目	全亜鉛	mg/L	0.021	—	0.011	—			0.016	0.03以下	—
健	ノニルフェノール	mg/L	—	—	—	—			—	0.002以下	—
康	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—	—	—	—			—	0.05以下	—
項	カドミウム	mg/L	<0.0003	—	<0.0003	—			<0.0003	0.003以下	—
項	全シアン	mg/L	ND	—	ND	—			ND	検出されないこと	—
目	鉛	mg/L	<0.001	—	<0.001	—			<0.001	0.01以下	—
目	六価クロム	mg/L	<0.005	—	<0.005	—			<0.005	0.02以下	—
目	砒素	mg/L	0.001	—	<0.001	—			0.001	0.01以下	—
目	総水銀	mg/L	<0.0005	—	<0.0005	—			<0.0005	0.0005以下	—
目	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—			—	検出されないこと	—
目	PCB	mg/L	—	—	—	—			—	検出されないこと	—
目	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—			—	0.02以下	—
目	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—			—	0.002以下	—
目	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—			—	0.004以下	—
目	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—			—	0.1以下	—
目	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—			—	0.04以下	—
目	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—			—	1以下	—
目	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—			—	0.006以下	—
目	トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—			—	0.01以下	—
目	テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—			—	0.01以下	—
目	1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—			—	0.002以下	—
目	チウラム	mg/L	—	—	—	—			—	0.006以下	—
目	シマジン	mg/L	—	—	—	—			—	0.003以下	—
目	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—			—	0.02以下	—
目	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—			—	0.01以下	—
目	セレン	mg/L	—	—	—	—			—	0.01以下	—
目	硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	2.6	—	4.1	—			3.4	—	—
目	亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.10	—	0.093	—			0.097	—	—
目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—			—	10以下	—
目	ふつ素	mg/L	—	—	0.06	—			0.06	0.8以下	—
目	ほう素	mg/L	—	—	—	—			—	1以下	—
目	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—			—	0.05以下	—
特	フェノール類	mg/L	—	—	<0.005	—			<0.005	—	—
殊	銅	mg/L	—	—	<0.01	—			<0.01	—	—
項	溶解性鉄	mg/L	—	—	<0.1	—			<0.1	—	—
項	溶解性マンガン	mg/L	—	—	0.07	—			0.07	—	—
項	クロム	mg/L	—	—	<0.01	—			<0.01	—	—
そ	アンモニア性窒素	mg/L	0.3	—	0.3	—			0.3	—	—
の	ケルダール窒素	mg/L	0.97	—	0.69	—			0.83	—	—
他	リン酸性リン	mg/L	0.21	—	0.11	—			0.16	—	—
の	導電率	mS/m	31	41	43	64			45	—	—
他	陰イオン界面活性剤	mg/L	0.01	—	0.01	—			0.01	—	—
の	トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—			—	0.04以下 ^{※2}	—
の	クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—	—	—	—			—	0.002以下 ^{※2}	—

調査地點 ⑯浅間川(鴨川合流手前)

採取年月		日	R6.8.21				平均	環境基準 類型C(生物B) ^{※7}
分析項目		時刻	13:55					
天候(前日・当日)	—	晴・晴					—	—
一 気温	°C	31.0					31.0	—
般 水温	°C	26.1					26.1	—
探取位置	—	流心					—	—
探取水深	—	表層					—	—
全水深	m	0.10					0.10	—
透視度	度(cm)	46.0					46.0	—
目 色相	—	中灰黄色					—	—
臭気	—	微下水臭					—	—
流量	m ³ /sec	0.18					0.18	—
水素イオン濃度	—	7.4					7.4	6.5以上8.5以下
生 溶存酸素量	mg/L	6.1					6.1	5以上
活 生物化学的酸素要求量	mg/L	3.9					3.9	5以下
環 浮遊物質量	mg/L	8					8	50以下
境 n-ヘキサン抽出物質	mg/L	ND					ND	—
項 全窒素	mg/L	4.9					4.9	—
目 全燃	mg/L	0.32					0.32	—
全亜鉛	mg/L	0.011					0.011	0.03以下
ノニルフェノール	mg/L	—					—	0.002以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—					—	0.05以下
カドミウム	mg/L	<0.0003					<0.0003	0.003以下
健 全シアン	mg/L	ND					ND	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.001					<0.001	0.01以下
康 六価クロム	mg/L	<0.005					<0.005	0.02以下
項 硒素	mg/L	<0.001					<0.001	0.01以下
目 総水銀	mg/L	<0.0005					<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	—					—	検出されないこと
PCB	mg/L	—					—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	—					—	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	—					—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—					—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—					—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—					—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	—					—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	—					—	0.01以下
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—					—	0.002以下
チウラム	mg/L	—					—	0.006以下
シマジン	mg/L	—					—	0.003以下
チオベンカルブ	mg/L	—					—	0.02以下
ベンゼン	mg/L	—					—	0.01以下
セレン	mg/L	—					—	0.01以下
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	3.1					3.1	—
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.25					0.25	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—					—	10以下
ふつ素	mg/L	0.05					0.05	0.8以下
ほう素	mg/L	—					—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—					—	0.05以下
フェノール類	mg/L	<0.005					<0.005	—
銅	mg/L	<0.01					<0.01	—
溶解性鉄	mg/L	0.1					0.1	—
溶解性マンガン	mg/L	<0.05					<0.05	—
クロム	mg/L	<0.01					<0.01	—
アンモニア性窒素	mg/L	0.6					0.6	—
ケルダール窒素	mg/L	1.5					1.5	—
リン酸性リン	mg/L	0.24					0.24	—
導電率	mS/m	31					31	—
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.02					0.02	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.04以下 ^{※2}
クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—					—	0.002以下 ^{※2}

調査地點 ⑯丸山都市下水路(八塚樋管)

採取年月		日	R6.8.21				平均	環境基準 類型A(生物B) ^{※6}
分析項目		時刻	10:55					
天候(前日・当日)	—	晴・晴					—	—
一般 気温	°C	32.0					32.0	—
般 採取位置	°C	26.6					26.6	—
項 採取水深	—	流心					—	—
目 全水深	m	0.11					0.11	—
透視度	度(cm)	22.0					22.0	—
色相	—	中灰茶色					—	—
臭気	—	微下水臭					—	—
流量	m ³ /sec	0.07					0.07	—
生 水素イオン濃度	—	7.4					7.4	6.5以上8.5以下
活 溶存酸素量	mg/L	7.8					7.8	7.5以上
環 生物化学的酸素要求量	mg/L	4.0					4.0	2以下
境 浮遊物質量	mg/L	34					34	25以下
項 n-ヘキサン抽出物質	mg/L	ND					ND	—
目 全窒素	mg/L	5.0					5.0	—
全燃	mg/L	0.32					0.32	—
全亜鉛	mg/L	0.012					0.012	0.03以下
ノニルフェノール	mg/L	—					—	0.002以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—					—	0.05以下
健 カドミウム	mg/L	<0.0003					<0.0003	0.003以下
鉛	mg/L	ND					ND	検出されないこと
康 六価クロム	mg/L	<0.001					<0.001	0.01以下
項 硒素	mg/L	0.001					0.001	0.01以下
目 総水銀	mg/L	<0.0005					<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	—					—	検出されないこと
PCB	mg/L	—					—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	—					—	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	—					—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—					—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—					—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—					—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	—					—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	—					—	0.01以下
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—					—	0.002以下
チウラム	mg/L	—					—	0.006以下
シマジン	mg/L	—					—	0.003以下
チオベンカルブ	mg/L	—					—	0.02以下
ベンゼン	mg/L	—					—	0.01以下
セレン	mg/L	—					—	0.01以下
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	3.4					3.4	—
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.14					0.14	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—					—	10以下
ふつ素	mg/L	0.06					0.06	0.8以下
ほう素	mg/L	—					—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—					—	0.05以下
特殊項目 フェノール類	mg/L	<0.005					<0.005	—
銅	mg/L	<0.01					<0.01	—
溶解性鉄	mg/L	0.1					0.1	—
溶解性マンガン	mg/L	0.05					0.05	—
クロム	mg/L	<0.01					<0.01	—
その他項目 アンモニア性窒素	mg/L	0.3					0.3	—
ケルダール窒素	mg/L	1.4					1.4	—
リン酸性リン	mg/L	0.16					0.16	—
導電率	mS/m	30					30	—
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.05					0.05	—
要監視項目 トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—					—	0.04以下 ^{※2}
クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—					—	0.002以下 ^{※2}

調査地点⑦ 上尾中堀川(貝殻樋管)

採取年月		日時	R6.8.21 11:30	R7.2.14 11:15				平均	環境基準 類型A(生物B) ^{※6}
分析項目		単位							
天候(前日・当日)	—	晴・晴	晴・晴					—	—
一 気温	°C	34.0	13.0					23.5	—
般 水温	°C	27.1	12.3					19.7	—
探取位置	—	流心	流心					—	—
項 探取水深	—	表層	表層					—	—
目 全水深	m	0.29	0.28					0.29	—
透視度	度(cm)	33.0	23.0					28.0	—
色相	—	中灰黄色	中灰黄色					—	—
臭気	—	微下水臭	微下水臭					—	—
流量	m ³ /sec	0.06	—					0.06	—
水素イオン濃度	—	7.3	—					7.3	6.5以上8.5以下
溶存酸素量	mg/L	2.0	—					2.0	7.5以上
生 物化学的酸素要求量	mg/L	1.7	4.9					3.3	2以下
活 浮遊物質量	mg/L	11	27					19	25以下
環 n-ヘキサン抽出物質	mg/L	ND	—					ND	—
境 全窒素	mg/L	4.4	—					4.4	—
項 全燐	mg/L	0.28	—					0.28	—
目 全亜鉛	mg/L	0.016	—					0.016	0.03以下
ノルルフェノール	mg/L	—	—					—	0.002以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	—	—					—	0.05以下
健 カドミウム	mg/L	<0.0003	—					<0.0003	0.003以下
鉛 全シアン	mg/L	ND	—					ND	検出されないこと
六価クロム	mg/L	<0.001	—					<0.001	0.01以下
項 硒素	mg/L	0.001	—					0.001	0.01以下
康 総水銀	mg/L	<0.0005	—					<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	—	—					—	検出されないこと
PCB	mg/L	—	—					—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	—	—					—	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	—	—					—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—					—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—					—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—					—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—					—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—					—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	—	—					—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—					—	0.01以下
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—					—	0.002以下
チウラム	mg/L	—	—					—	0.006以下
シマジン	mg/L	—	—					—	0.003以下
チオベンカルブ	mg/L	—	—					—	0.02以下
ベンゼン	mg/L	—	—					—	0.01以下
セレン	mg/L	—	—					—	0.01以下
硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	1.1	—					1.1	—
亜硝酸性窒素 ^{※1}	mg/L	0.13	—					0.13	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—					—	10以下
ふつ素	mg/L	0.07	—					0.07	0.8以下
ほう素	mg/L	—	—					—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—					—	0.05以下
フェノール類	mg/L	<0.005	—					<0.005	—
銅	mg/L	<0.01	—					<0.01	—
溶解性鉄	mg/L	0.2	—					0.2	—
溶解性マンガン	mg/L	0.24	—					0.24	—
クロム	mg/L	<0.01	—					<0.01	—
アンモニア性窒素	mg/L	2.2	—					2.2	—
ケルダール窒素	mg/L	3.1	—					3.1	—
リン酸性リン	mg/L	0.13	—					0.13	—
導電率	mS/m	44	—					44	—
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.07	—					0.07	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—					—	0.04以下 ^{※2}
クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—	—					—	0.002以下 ^{※2}

3. 用語集

【あ行】

アイドリングストップ

自動車などが走行していない時、エンジンをつけたままにしている状態をアイドリングといい、そのアイドリングを行わないこと。燃料消費の無駄を減らし、大気汚染物質や温室効果ガスの削減に効果がある。

あげお朝市・夕市

「あげお朝市実行委員会」が市内で生産された新鮮で安全な野菜や卵のほかに季節の花や果実、手作りまんじゅうなどをJR上尾駅自由通路にて月1回直売するイベント。

あげお環境賞

環境保全の意識の醸成と行動の促進を目的に、他の模範となる取組を行っている個人・団体・事業者を表彰するもの。第1回の表彰は平成14年度（2002年度）に実施した。

アスベスト

石綿ともいわれ、天然に存在する纖維状の鉱物である。纖維が肺に突き刺さったりすると肺がんや中皮腫の原因になることが明らかになり、日本では、平成元年に「特定粉じん」に指定され、使用制限または禁止されるようになった。

雨水浸透ます

雨水の地下浸透を促す設備の一つであり、コンクリート性の筒型の形状で、多数の穴を開けてあるもの。この多数の穴を通って雨水は地下に浸透する。降雨の際、下水道施設の負担を軽減するほか、雨水の河川への急激な流入を抑制し出水による被害を軽減する効果が期待できる。

雨水貯留槽

雨水を河川や下水へ急激に流入させないため、集合住宅用地等の比較的規模の大きな施設の地下で雨水をためる抑制施設。一部

の施設においては、貯めた雨水をトイレ用水などに再利用している。

雨水貯留タンク

雨どいに直接接続し、建物の屋根に降った雨水を貯めるタンク。貯まった雨水は、庭木への水やり、打ち水、洗車などに利用でき、水道水の節約につながる。また、降雨の際、下水道施設の負担を軽減するほか、雨水の河川への急激な流入を抑制し出水による被害を軽減する効果が期待できる。

打ち水

アスファルトやコンクリート等の表面に水をまくことで、気化熱によって地面や周囲から熱を吸収し、温度を下げること。

エコチューニング

低炭素社会の実現に向けて、業務用等の建築物から排出される温室効果ガスを削減するため、建築物の快適性や生産性を確保しつつ、設備機器やシステムの適切な運用改善等を行うこと。

エコドライブ

不要なアイドリングや空ぶかし、急発進、急加速、急ブレーキなどの行為をやめるなど、車を運転する上で簡単に実施できる環境対策で、二酸化炭素(CO₂)やその他の排出ガスの削減に有効とされている。主な内容として、余分な荷物を載せない、アイドリングストップの励行、制限速度の遵守、急発進や急加速、急ブレーキを控える、適正なタイヤ空気圧の点検などがある。

SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービス。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWEBサイト。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間

関係を構築する場を提供する、会員制のサービスのこと。

SDGs(エス・ディー・ジーズ)

SDGs (Sustainable Development Goals[持続可能な開発目標]) とは、2015年9月国連で採択され、「誰一人取り残さない」という理念のもと、「持続可能な世界を実現する」ことを目指した、2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット、および、その進展を評価するための指針を持つ包括的な目標です。 ((一社)日本SDGs協会HP)



エネファーム(家庭用燃料電池)

都市ガスやLPガス、灯油などから水素を抽出し、空気中に存在している酸素と反応させることにより電気を作り出すシステムのこと。発電の際の副産物である排熱を暖房や給湯システムの熱源として利用する。

温室効果ガス

大気を構成する気体であって、赤外線を吸収し再放出する気体。「地球温暖化対策の推進に関する法律」では、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFCS)、パーフルオロカーボン類(PFCS)、六ふつ化硫黄(SF₆)、三ふつ化窒素(NF₃)の7物質が温室効果ガスとして排出削減対象となっている。

【か行】

かいぼり

池や沼の水をくみ出して泥をさらい、魚などの生物を獲り、天日に干すこと。

外来生物

国外や国内の他地域から人為的(意図的または非意図的)に導入されることにより、本来の分布域を越えて生息または生育

することとなる生物種(外来種)。外来生物のうち、導入先の生態系等に著しい影響を与えるものを特に「侵略的な外来種」と呼び、これらは自然状態では生じ得なかつた影響を人為的にもたらすものとして問題となっている。(→特定外来生物)

合併処理浄化槽

生活排水のうち、し尿と雑排水を併せて処理することができる浄化槽のこと。(→単独処理浄化槽)

家庭用燃料電池(コージェネレーションシステム)

発電と同時に発生する排熱も利用して、冷暖房や給湯等の熱源に利用するエネルギー供給システムで、総合熱効率の向上を図るもの。

環境基準

「環境基本法」第16条の規定に基づき、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として国が定めるもの。

環境負荷

人の活動により環境に加えられる影響で、環境を保全するうえで支障をきたす恐れのあるものをいう。工場からの排水・排ガスのほか、家庭からの排水、ごみの排出、自動車の排気ガスなど、事業活動や日常生活あらゆる場面で環境への負荷が生じている。

緩和策

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減して地球温暖化の進行を食い止め、大気中の温室効果ガス濃度を安定させる対策のこと。

揮発性有機化合物(VOC)

Volatile Organic Compounds。インキ、ガソリンおよび溶剤(シンナー等)等に含まれるトルエン、キシレン等の揮発性を有する有機化合物の総称。SPMおよび光化学オキシダント*の生成の原因物質の一つ。

協定締結公園

公園管理協定の締結されている公園のこと

クールシェア

夏の省エネ対策の一つとして、暑い時に涼しい場所に集まることで、エアコンの稼働を減らす取組。家庭で一つの部屋に集まる、図書館・集会所などの公共施設の利用のほか、カフェ・レストランなどの民間施設の利用があげられる。

クリーン上尾運動

市内に散乱するごみ・空き缶を回収するとともに、清掃活動やリサイクル活動をとおして市民の環境意識の高揚を図るため、関東統一美化キャンペーン実施日（5月30日＝ごみゼロの日）を中心に、地区（上尾・平方・原市・大石・上平・大谷・原市団地・尾山台団地・西上尾第一団地・西上尾第二団地）ごとに実施される美化清掃活動。

クリーンエネルギー

電気、熱などに変えて二酸化炭素、窒素酸化物などの有害物質を排出しない（または少ない）エネルギーのこと。一般的には自然エネルギーである太陽光発電システム、太陽熱温水器、水力発電、風力発電、地熱発電などが挙げられる。また化石燃料の中でも、有害物質の発生が少ない天然ガスも、石油と比較してクリーンエネルギーと呼ばれることがある。（→自然エネルギー）

グリーンカーテン

植物を建物の窓を覆うように這わせることによって、太陽光の直射を避け、日陰をつくること。植物の葉からの気化熱の作用も働き、室温上昇の抑制を図ることが期待できる。

グリーン購入

製品やサービスを購入する際に、その必要性を十分に考慮し、購入が必要な場合には、できる限り環境への負荷が少ないものを優先的に購入すること。環境負荷の低い製品には「エコマーク」などの環境ラベルが付されていることが多い。

ゲリラ豪雨

局地的大雨。短い時間に集中的、局地的に発生する豪雨のこと。

減農薬農法

農業の持つ物質循環機能を活かし、土づくり等を通じて化学肥料や農薬の投入を低減し、環境負荷を軽減するよう配慮した持続的な農業生産方式のこと。

公園管理協定

地域に密着し、親しみのある公園環境になるように、地域住民が簡易な管理作業を行う際に報奨金を支払う制度。

光化学オキシダント

工場・事業場や自動車から排出される窒素酸化物（NOX）や揮発性有機化合物（VOC）などが太陽光線を受けて光化学反応を起こすことにより生成されるオゾン（O₃）などの総称で、いわゆる光化学スモッグ※の原因となっている物質。強い酸化力を持ち、高濃度では目や咽喉への刺激や呼吸器に影響を及ぼすおそれがあり、農作物などにも影響を与える。

光化学スモッグ

光化学オキシダントの濃度が高くなり、白くモヤがかかったようになった状態が光化学スモッグと呼ばれる。光化学スモッグが発生すると、目や咽喉などの粘膜に健康被害を及ぼすほか、植物への悪影響をもたらす。

公共用水域

河川や湖沼、港湾など公共用に供される水域とこれらに接続する小規模の溝状の水路（公共溝渠）、灌がい用水路などの公共用に供される水路のこと。公共下水道や流域下水道で終末処理場を有しているもの、またこの流域下水道に接続している公共下水道は除かれる。

耕作放棄地

農作物が1年以上作付けされず、農家が数年の内に作付けする予定がないと回答した田畠・果樹園。

公有地化

相続等の発生により売却や開発される恐れがきわめて高いなど、保全することが著しく困難な場合に、行政が土地の買入れ、借受けを行い当該地の現況を保全すること。

コーデネレーションシステム

発電と同時に発生する排熱も利用して、冷暖房や給湯等の熱源に利用するエネルギー供給システムで、総合熱効率の向上を図るもの。

【さ行】

再エネ・省エネ対策推進奨励金

市では、自主的に再エネ・省エネ活動に取り組む方々に予算の範囲内で再エネ・省エネ対策推進奨励金を交付。

再資源化

廃棄物等を原材料として再利用すること。

再生可能エネルギー

太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなど、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーの総称。化石燃料と異なり、エネルギーの利用時に二酸化炭素をほとんど排出しない。

資源循環

廃棄物を再使用、再生利用、熱回収などすることにより、資源として利用すること。

次世代自動車

ガソリンなど化石燃料の使用をゼロまたは大幅に減らして環境負荷を和らげる自動車。ハイブリッド車（HV）やプラグインハイブリッド車（PHV）、電気自動車（EV）、水素と酸素の化学反応で発電して走る燃料電池自動車、低公害ディーゼル車がある。

自然学習館

上尾丸山公園内に設置された、上尾の自然や文化を学習、観察、体験ができる施設。

自転車レーン

道路法令（道路法と道路構造令）に規定された自転車の通行に供される自動車から分離された各種の道路または道路の部分を指す。一般的な用法としては、このほかに、道路交通法に基づく交通規制による「自転車専用通行帯（自転車レーン）」や自転車以外の通行禁止規制が実施された道路、自転車が通行することのできる「歩行者用道路」、道路法上の道路ではない道路（施設扱いのサイクリング道路や河川管理道路など）を含む場合がある。

市民農園

サラリーマン家庭や都市の住民の方々がレクリエーションとしての自家用野菜・花の栽培、高齢者の生きがいづくり、生徒・児童の体験学習などの多様な目的で、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園のこと。

住工混在

住宅と工場が混在する地区あるいは地域のこと。近年は、工場跡地の有効活用として中高層マンションや住宅が建設され、新たに転入してきた住民と、もとより操業していた工場との間で、騒音、振動、臭気、埃、積降作業に伴う交通渋滞などの問題が生じやすくなっている。

樹木管理公園

剪定等の樹木管理を行った公園のこと。

食品ロス

まだ食べられるのに廃棄される食品のこと。日本では、平成28年度において年間2,759万トンの食品廃棄物等が出されており、このうち「食品ロス」は643万トンと推計される。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量（平成29年で年間約380万トン）の1.7倍に相当する。

省エネ診断

地球温暖化や省エネ家電・設備などに関する知識を持った専門家が、家庭や事業所のエネルギー使用状況を診断し、実行性の高いアドバイスを行う制度のこと。

省エネルギー行動

省エネルギーとは、同じ社会的・経済的效果をより少ないエネルギーで得られるようにすることであり、家庭や事業所における不要な機器の停止、温度・照度などの設定の見直しや、運用方法の改善などをすることを省エネルギー行動という。

除染

放射性物質を「取り除く」「遮る」「遠ざける」などの方法を組み合わせて、環境中にある放射性物質による被ばく線量を低減すること。

森林環境譲与税基金

木材利用、その他の森林の整備の促進に関する施策のための基金を設置するもの。

生産緑地

「生産緑地法」に基づき、農林業と調和した良好な都市の形成を図ることを目的として、緑地の機能及び多目的保留地機能を有する 500 m²以上の市街化区域内農地を保全するため、市が都市計画に定める緑地のこと。

生態系サービス

人々が生態系から得ることのできる便益のことで、食料、水、木材、纖維、燃料などの「供給サービス」、気候の安定や水質の浄化などの「調整サービス」、レクリエーションや精神的な恩恵を与える「文化的サービス」、栄養塩の循環や土壤形成、光合成などの「基盤サービス」などがある。

生物化学的酸素要求量(BOD)

Biochemical Oxygen Demand（バイオケミカル・オキシゲン・デマンド）の略称。川などから採水した水を密閉したガラス瓶に入れ、20°Cで5日間暗所で培養したときに、水中の有機物が好気性微生物により分解される過程で消費される水中の酸素量（溶存酸素量）のことで、河川における

有機物による水質汚濁の指標となっている。採水当日の酸素量と5日後の酸素量の差が、微生物に消費された酸素量となる。

生物多様性

もとは一つの細胞から出発したといわれる生物が進化し、今日では様々な姿・形、生活様式をみせている。このような生物の間にみられる変異性を総合的に指す概念であり、現在の生物がみせる空間的な広がりや変化のみならず、生命の進化・絶滅という時間軸上のダイナミックな変化を包含する幅広い概念。生物多様性条約など一般には、

- ・様々な生物の相互作用から構成される様々な生態系の存在＝生態系の多様性
- ・様々な生物種が存在する＝種の多様性
- ・種は同じでも、持っている遺伝子が異なる＝遺伝的多様性

という3つの階層で多様性をとらえ、それぞれ保全が必要とされている。

ZEH

NetZeroEnergyHouse（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略称。住まいの断熱性・省エネ性能を上げること、そして太陽光発電などでエネルギーを作ることにより、年間の一次エネルギー消費量（石油、石炭、天然ガス、原子力発電所で利用する核燃料、水力、太陽光、太陽熱などの消費量）の収支をゼロとすることを目指した住宅。

ZEB

NetZeroEnergyBuilding（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称。大幅な省エネルギー化を実現したうえで、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物。

【た行】

ダイオキシン類

「ダイオキシン類対策特別措置法」では、ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン（PCDD）とポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）に加え、同様の毒性を示すコプラナー・ポリ塩化ビフェニル（コプラナー・PCB）と定義している。生殖、脳、免疫系などに対して生じ得る影響が懸念されており、研究が進められているが、日本において日常の生活の中で摂取する量では、急性毒性や発がんのリスクが生じるレベルではないと考えられている。なお、これらの物質は炭素・水素・塩素を含むものが燃焼する工程などで意図せざるものとして生成される。

たい肥化

人の手によって、有機物（主に動物の排泄物、生ごみ、汚泥）を分解する微生物などのたい肥化生物にとって有意な環境を整え、たい肥を作ること。コンポスト化とも呼ばれる。

太陽光発電システム

シリコン、ヒ素ガリウム、硫化カドミウム等の半導体に光を照射することにより電力が生じる性質を利用して、太陽光によって発電するシステム。家庭においては、基本的に家庭で利用し余った電気は電力会社が買い取る「余剰電力の買取制度」が適用される一方、事業者が設置する太陽光発電所などは、自分で消費した電力とは無関係に、太陽光発電したすべての電力を売電できる「全量買取制」が適用されている。

太陽熱温水器

太陽熱を集熱し、給湯や冷暖房に利用する「太陽熱利用機器」。主に集熱器と貯湯槽から構成され、集熱器と蓄熱槽が一体化された機器が自然循環型で、一般に太陽熱温水器と呼ばれ、集熱器と蓄熱槽がそれぞれ分離しているのが強制循環型で、ソーラーシステムや太陽熱高度利システムとも言われる。

単独処理浄化槽

生活排水のうち、し尿のみを処理する浄化槽のこと。（→合併処理浄化槽）

地球温暖化

地球全体の平均気温が上昇する現象。生態系に悪影響を及ぼすおそれがある。主な原因は、人口的に排出される二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスであり、産業革命以降、化石燃料を大量に使用することで加速化したとされる。（→温室効果ガス）

地区計画

「都市計画法」第12条の4第1項第1号に定められている、住民の合意に基づいて、それぞれの地区の特性にふさわしいまちづくりを誘導するための計画。

蓄電池

充電と放電を繰り返し行うことができる電池のこと。電気エネルギーを化学エネルギーに変えて蓄え、必要に応じて電気エネルギーとして取り出せる構造になっている。

地産地消

地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内において消費すること。また、農産物だけでなく、地域で必要とするエネルギーを太陽光や太陽熱などの再生可能エネルギーの活用などによって地域で生み出すことも同様に言う。

地中熱

昼夜間または季節間で温度変化が小さい地中の熱的特性を活用したエネルギーのこと。

適応策

気候の変動やそれに伴う気温・海面の上昇などに対して人や社会、経済のシステムを調節することで影響を軽減しようという対策のこと。

出前講座

申込みに応じて、市職員等が学習者の希望する時間に学習者の確保した学習場所へ出向き、所掌事務に関する内容等の講義を行うもの。

透水性舗装

道路や歩道を間隙の多い素材で舗装して、舗装面上に降った雨水を地中に浸透させる舗装方法のこと。地下水の涵養や集中豪雨等による都市型洪水を防止する効果があるため、主に、都市部の歩道に利用されることが多い。また、通常のアスファルト舗装に比べて太陽熱の蓄積をより緩和できるため、ヒートアイランド現象の抑制の効果もある。舗装の素材として、高炉スラグ、使用済みガラス等のリサイクル材料を利用する工法も開発されている。

特定外来生物

外来生物（移入種）のうち、特に生態系等への被害が認められるものとして、「外来生物法」（平成16年）によって規定された生物のこと。生きているものに限られ、卵・種子・器官などを含む。同法により、これらの生物の飼育、栽培、保管、運搬、輸入、野に放つなどの行為は禁止されている。（→外来生物）

特別緑地

「上尾市自然環境保全と緑化推進に関する条例」に基づき指定した樹林の中で、特に良好なもの。

特別緑地保全地区

都市の無秩序な拡大防止や緑地等の保全を図るため、都市緑地法に基づき市が指定するもの

【な行】

農地の多面的機能

安全な「食」を提供する農地には様々な生き物が生息し、豊かな農村風景を形成している。豪雨の際は雨水を貯めることで洪水や土砂崩れを防止し、農業に由来する伝統行事の開催の場にもなるなど、農地は人々の生活には欠かせない多様な機能を持っている。

農地パトロール

「農地法」第30条に基づき、実施される農地の利用状況調査のこと。「現に耕作されておらず、かつ、引き続き耕作されな

いと見込まれる農地」、「利用の程度が周辺の地域の農地に比べ著しく劣っている農地」を調査する。

野焼き

一般的には、毎年春の彼岸前後に、牛馬の放牧や採草地として利用している野草地に火を入れて焼く作業のこと。廃棄物の分野では、廃棄物を野外で焼却することを指しており、この行為は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で農林漁業を営むためなど一部例外を除き禁止されている

【は行】

ばい煙

燃料やその他の物の燃焼に伴い発生する硫黄酸化物、ばいじんおよび有害物質の総称。

ヒートアイランド現象

都市域において、人工物の増加、地表面のコンクリートやアスファルトによる被覆の増加、それに伴う自然的な土地の被覆の減少、さらに冷暖房などの人工排熱の増加により、地表面の熱収支バランスが変化し、都心域の気温が郊外に比べて高くなる現象をいう。都市およびその周辺の地上気温分布において、等温線が都心部を中心として島状に市街地を取り巻いている状態により把握することができるため、ヒートアイランド（熱の島）といわれる。

PDCA サイクル

事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。

PRTR 制度

人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質が、事業所から環境（大気、水、土壤）へ排出される量および廃棄物に含まれて事業所外へ移動する量を、事業者が自ら把握し国に届け出をし、国は届出データや推計に基づき、排出量・移動量を集計・公表する制度。

FIT制度

「固定価格買取制度」とも言われ、再生可能エネルギーで発電した電気を一定期間は固定価格で買い取らなければならないという制度。

不法投棄

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に違反して、同法に定めた処分場でなく、山林、河川、公園、廃墟などの人目につかないようなところに廃棄物を投棄すること。違反者には廃棄物の撤去とともに懲役・罰金などの罰則がある。

浮遊粒子状物質

粒子状の物質（浮遊粉じん・エーロゾルなど）のうち、大気中に浮遊している粒径が $10\mu\text{m}$ （マイクロメートル： $\mu\text{m}=100$ 万分の1m）以下のもの。

ふるさとの緑の景観地

「ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例」に基づき、樹林地が単独で、または樹林地及びこれに隣接する土地が一体となって相当広範囲にわたり、ふるさとを象徴する緑（埼玉らしさを感じさせる樹木を中心とした優れた風景をいう）を形成している地域を埼玉県が指定するもの。

ふれあいの森

自然環境の保全を図るため、市民と行政が緑化を推進するにあたり、保存樹林の中で特に良好なものを特別緑地として指定し、「ふれあいの森」として市民に開放している。

HEMS

「Home Energy Management System」の略。カラーモニターが付いた、家庭用の電力管理システム。

「HEMS」のキーワードは、「見える化」と「一元管理」の2つ。「見える化」のポイントは、モニターに詳しい電力使用量がリアルタイムで表示されること。いつ、どの部屋の、どの機器で多くの電力を使っているかが一目瞭然なので、節電対策が立てやすく、結果も目に見えて実感できるので、家族の省エネ意識の向上にもつなが

る。「一元管理」のポイントは、例えばエアコンのスイッチや、帰宅時間に合わせた湯張りを外出先からスマホ操作で行うことができる。また、電気代が安い時間帯、高い時間帯を見極めて電子機器を自動制御すれば、電気の使用量を最適化することが可能。無駄な労力をかけることなく効率的に節電できる。

放射性物質

放射線を出す能力を持った物質のこと。

保存樹林・保存樹木

自然環境の保全を図るため、市民と行政が緑化を推進するにあたり、樹林は 500m^2 以上、樹木は高さ10m以上および幹周1.5m以上を有するものを市が指定する。

【ま行】

マイタイムライン

台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるもの。

マイバッグ

買った品物を入れるために消費者が持参する袋。買物袋。

街づくり協議会

「上尾市街づくり推進条例」第8条の規定により、地区住民によって設立された団体のこと。

みどりの基金

上尾の緑を守り、創り育していくために基金を設置するもの。

緑のパートナーシップ制度

公園管理協定に基づき、公園の軽易な管理作業を行う地域の団体等に対し報償金を交付して、良好な都市環境と健全な街づくりを目指す制度のこと。（→公園管理協定）

【や行】

有機農法

化学的に合成された肥料および農薬を使用しないこと、並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業のこと。

遊休農地

耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地のこと。

要請限度

「騒音規制法」および「振動規制法」においては、市町村長は指定地域内における自動車騒音あるいは道路交通振動を低減するために、測定に基づき、道路管理者などに意見を述べ、都道府県公安委員会に対して対策を講じるよう要請することができるとしており、この判断の基準となる値のこと。

【ら行】

リサイクル

廃棄物等を原材料として再利用すること。効率的な再生利用のためには、同じ材質のものを大量に集める必要があり、特に自動車や家電製品といった多数の部品からなる複雑な製品では、材質の均一化や材質表示などの工夫が求められる。なお、再生利用のうち、廃棄物等を製品の材料としてそのまま利用することをマテリアルリサイクル（例：びんを碎いてカレットにした上で再度びんを製造する等）、化学的に処理して利用することをケミカルリサイクル（例：ペットボトルを化学分解して再度ペットボトルにする等）という。

利用権設定

農地を貸したいという農家と、農業経営規模の拡大を図りたいという認定農業者等との間で、「農業経営基盤強化促進法」に

定められる、農業上の利用を目的とする賃借権もしくは使用賃借による権利を設定すること。

緑地保全地区

「都市緑地法」に基づき、樹林地、草地等の良好な自然環境を有している土地で、無秩序な市街化の防止や公害・災害の防止、寺社・遺跡等と一緒にとなった郷土のシンボル的機能等を持つものを対象として定める。規制により損失を受けた場合の保証や所有者の申し出により土地の買入れ、税制上の優遇等が定められている。地区内で建築行為、土地の区画形質の変更等を行う場合は許可が必要となる。

緑地率

公共施設等として管理されている緑地（公園等）、土地利用規制等で確保されている緑地（生産緑地・近郊緑地保全地域等）、社会通念上安定していると考えられる緑地（寺社、公開性のある大学等）を緑地と定義し、市域に占める緑地面積の割合をいう。

路上喫煙

歩行中、立ち止まった状態、携帯灰皿の使用、自転車、自動二輪車などに乗車中も含めた、道路等での喫煙。歩きたばこは、周囲の人にとって危険であり、迷惑となる。また、吸い殻のポイ捨ては、吸い殻の散乱がまちの美観を損なうことにつながる。



AGECO style
あげおでエコな暮らし方
AGEO × ECO = AGEKO

AGECOとは…

あげおで行う環境に優しい**エコ**な取り組みを総称したもの。

私たちが身近にできることを取り組みながら、
あげおでエコな暮らし方を楽しむことを掲げたスローガンです。

2024(令和6年度)上尾市環境年次報告書

令和8年1月発行

上尾市環境経済部環境政策課

〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号

TEL:048-775-6925

FAX:048-775-9872

e-mail:s251000@city.ageo.lg.jp